

# しみんけんきゅうニュース

発行:(公財)千里リサイクルプラザ 市民研究所 〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園4-3  
TEL 06-6877-5300 FAX 06-6876-0530 <http://www.senri-recycleplaza.or.jp/>

### 【目次】

- P2 TOPICS
- P3 各チーム活動報告
- P4-5 特集(身近な環境 PT)
- P6 主担研究員コラム
- P7 市民研究所通信
- P8 9・10月行事予定

## 千里リサイクルプラザ30周年記念式典開催



記念演奏 大阪大学交響楽団

2022.06.26



-記念式典-  
プラザ門協理事長式辞  
副市長・議長・教育長ご祝辞  
来賓紹介 副理事長謝辞

基調講演 三輪信哉先生



パネルディスカッション

2022.06.26



来場者に配布した冊子  
(挨拶文・財団の歴史・情報紙・  
報告書・ニュース)



プラザの紹介

# TOPICS



## くるくる環境スクール木工工房体験講座を

### 覗いてみました

7月9日午前10時から、環境スクール木工工房体験講座が開かれ、スクール受講生19名に、4名の工房指導員が八角形のスツール製作を指導しました。

支え板は既に八角に切られていましたが、脚となる4本の角材と脚を十文字に固定する2本の角材を、釘を使わずに組み込む工程は、かなり精密な作業が要求されるように感じました。スツールの天板は、帯のこで八角に切り、ヤスリで綺麗に磨きました。

曲尺の使い方に戸惑ったり、電動糸ノコを正確に動かす作業に苦労されている方も見受けられ、「アッ、しまった!」「電動ノコが怖い!」との声も聞かれ、その度に指導員さんが駆け付けて対処されていました。作業が進むにつれて皆さん真剣な顔になり、お声掛けも憚られる雰囲気になってきましたので、完成品を拝見する事無く失礼しました。

(市民研究員 福田規子)

## 令和4年度くるくるキッズ環境スクール開校式

スクール生は、1年生から3年生の男女11名、保護者と同伴児を含めると17名の参加で、にぎやかな開校式でした。

初めに事務局より、「くるくる」のいわれや「リサイクル」について分かりやすい説明があり、続いての自己紹介で和やかな雰囲気となりました。

続いて「市民とお店をエコでつなぐPT」による「風呂敷包み体験講座」が始まり、紐の結び方から、バンダナを使っての帽子、ウエストポーチ、ペットボトルホルダーの作り方を丁寧に指導され、バンダナを使っての帽子は皆かぶって見せ合っていました。

続いて「手づくりおもちゃと環境PT」による「十字プロペラ手作り体験講座」があり、皆懸命におもちゃ作りに励み、出来上がった十字プロペラを飛ばして歓声を挙げていました。家でも作りたいとの要望もあり「プロペラ図面」を全員に提供しました。

講座後のアンケートでも「楽しかった」「子どもの成長を見れた」と高評価でした。

これを機会に環境に関心を持つ児童に育ってくれることに期待します。

(市民研究員 茶園征也)



### 市民とお店をエコでつなぐ PT

定例会において、主担の三輪先生からごみ減量再資源化推進会議の報告と吹田市のプラスチックごみに関する取組についての報告をして頂きました。報告を受け、今後私たち PT の進め方について、何を研究していくのかを次回定例会までに考えてくることになりました。

### 身近な環境を調べよう PT

糸田川の調査と並行して引き続き動画作成に取り組んでいます。内容や構成について検討していくと、どうしても内容が膨らんでしまい一つの動画に収めるのが難しくなってきました。

主担の黒田先生の指導の下、きちっとしたシナリオを作成していきたいと思っています。

### 吹田ごみゼロシステム研究 PT

各自の研究テーマや活動計画の趣旨について発表してもらいました。作成した活動計画書の内容について、チームのメンバーや主担研究員から具体的な方策など、いろいろな角度からアドバイスをもらいました。今後は、いただいた意見を参考に活動計画の追加・修正を行う予定です。

### 手作りおもちゃと環境 AT

今夏は活動が多く、くるくるキッズ環境スクールで十字プロペラ、夏休み施設見学会ではオイル万華鏡作り体験を実施。また、エキスポシティ内 'Inforest すいた' にて手作りおもちゃ作り体験を実施しました。

くるくる夏フェスタ・ワークショップでは、水車ボート作りも人気でした。

2学期からのクラブ支援でもおもちゃ作りを体験してもらえるように準備しています。

### 紙すき体験と環境 AT

くるくるキッズ環境スクールで紙すきの工房体験をし、環境について学んでもらいました。9月からクラブ支援を再開するため、千里第三小学校に紙すき道具の貸し出しをするため、その準備をしました。

### SDGs 啓発 PT

新しいメンバーが1人増えました。キッズ環境スクールで実施予定の「ヒキタシの輪」のコンテンツを担当していただく予定で、内容を詰めました。

10月に担当する環境出前講座「NEW エコゲーム」の形もまとまってきました。今後はカードゲームの研修も実施していきます。

## 身近な環境を調べようプロジェクトチーム

市民研究員 片山 桂子

私たちのプロジェクトは、糸田川流域の環境を調べきれいな川に「ごみを少なく」を目標に調査活動を進めている。



3年目となる今年度は、いつもの糸田川の4か所の橋で「気温・水温・透視度・PH・COD」5項目の調査に加え、集大成として、糸田川の環境調査を動画にまとめる計画である。

動画制作、SNSの活用などについては、主担研究員の黒田勇先生に指導していただいている。新しいメンバーも4名増えた。プロジェクトメンバーのFacebookも立ち上げた。



月例定例会、3か月毎の現地調査に加え、動画用画像の撮影などは、各々で都合がつくときに行いFacebookに投稿して情報を共有している。

また、今年度の課題のひとつであった「地域団体との連携」は、毎月第2日曜日の8時から行われている南金田自治会の河川清掃活動に、4月10日にメンバーが参加した。

現地調査の後に、その都度更新している調査内容をイラスト・写真付きでまとめた「糸田川観察マップ」がある。7月の現地調査でVer.9になった。糸田川とその周辺のイラストはメンバーの手書きである。しみんけんきゅうニュースNo.306の表紙にもなった。このプロジェクトチームの顔となっている。

これを河川沿いの公民館などにも設置してもらい、ごみを少なくしていくための啓発活動に使いたいと考えている。

また、糸田川に生息している外来種についても、昨年の武田義明先生による市民研究員研修講座「吹田の外来生物について」で学習したことで、注意深く観察し、在来種を守り、外来種を増やさないための啓発活動も必要ではないかと考えている。



(生態系を崩す可能性のあるヌートリアと特定外来生物に指定されているオオキンケイギク)

啓発活動については、他にも、小学生と一緒に糸田川の環境を調査する企画や、出前講座で実施するプログラム等も話し合っている。

# 糸田川観察マップ

2022.7.14.木曜 天気雨 第9回目  
(公財)千里リサイクルプラザ市民研究所 身近な環境を調べようPT

注釈 写真は橋から撮影しています。  
北(南)向は、橋から北(南)方向に  
撮影の意味です。



COD(化学的酸素要求量)試験  
↓使用したテストキット

アドプト・リバー活動(看板)  
ボランティアの皆さんに河川の一定区間の清掃・緑化活動などを、継続的に行ってもらいます。

## 川の観察 チェックシート No9

調査日		2022年7月14日		天気		雨		
調査場所		糸田橋～新糸田橋		新糸田橋～広芝橋		広芝橋～五反田橋		
調査時間		13:50～14:30		14:30～14:50		14:50～15:17		
名前		市民研究員5名		雨		水の量		
		○		△		○		
質問	区分	◎	○	△	区分	区分	区分	
水は澄んでいますか?		澄んでいる	少しにごっている	すごくにごっている	◎	◎	◎	
においはしますか?		まったくにおわない	あまりにおわない	すぐにおう	◎	◎	◎	
どんな音がありますか?		静かで、虫や鳥の鳴き声が聞こえる	自動車や工場の音がする	自動車や工場の音がうるさい	◎	◎	◎	
植物がありますか?		いろいろな草や木がある	同じような草や木がある	草や木がほとんど生えていない	◎	◎	◎	
魚はいますか?		色々な魚がたくさん泳いでいる	魚が少し泳いでいる	魚はいない	◎	◎	◎	
虫や鳥が飛んでいますか?		3種類以上の虫や鳥がいる	1～2種類の虫や鳥がいる	虫や鳥は見かけない	◎	◎	◎	
ゴミはありますか?		ほとんどない	少しある	たくさんある	◎	◎	◎	
気温(°C)	糸田橋	26.7	金田橋	24.4	南金田橋	26.0	下新田橋	25.6
水温(°C)		26.2		26.0		26.3		27.0
透視度(m)		100以上		100以上		100以上		100以上
pH(水素イオン濃度)		9		9		9		9
COD(化学的酸素要求量)		10		8		8		9

ペットボトル	7	2	14
ビン	7	2	14
缶	3	2	2
ビニール袋等	112	70	83
なべ	2		1
サンバイザー			1(8以上)とごみ袋

ゴミの種類ごとの数を記入してください

- 全体的な感想**
- 雨天続きで水量は比較的多く、水は澄んでいた。
  - ゴミは、小さなものが木に引っかかり、所々で多く見られたが、いつもペットボトルなどが多い下流部は流されたのか全くなかった。
  - 相変わらずランタナ、ヒメジオンの花が咲き、オニユリの花が所々で見られた。オオキンケイギクはもう終わりがけだった。ヤナギ・バレイランはまだまだ咲いていかなかった。
  - ウマノスズクサが切られ枯れていた。
  - カルガモは下流部で見られただけで少なかった。カワウ、アオサギが見られた。
  - 大きなコイの死骸が見られた。深みにコイが群れ、小魚も多く見られた。
  - ヌートリア、アカミガメが見られた。

水の色、感じた臭いや音、見つけた植物、魚、虫や鳥の種類などを記入してください

雨天で、水量が比較的多かったが水はきれいだった。クズでおおわれているところから、リュウキウサガガオもその間から2輪見られる程度だった。ランタナ、ヒメジオンなどの花が咲いていたが、オオキンケイギクの花はもう終りに近づいた。小魚が見られた。雨のためか昆虫類はほとんど見られなかった。

落ち込みは泡立っていた。河口部は潮が引いて浅くなっていた。河口付近は、ゴミが雨で流されたのかきれいだった。河口にカルガモが2羽いた。コイや小魚が見られた。アカミガメ、ヌートリアが見られた。アオサギが飛んでいた。

R030219画像+0226+0303  
illustration by Ogaki.  
R040714写真  
第9版A R040731(C)明1.15

**ご案内**  
市民研究所では、  
河川の継続調査の  
参加者募集中です。  
kenkyuu@senri-recycleplaza.or.jp

しみんけんきゅうニュース  
2021年11月号掲載  
(HPあり)

## 「チルドレンズ・ミュージアム」

主担研究員 三輪信哉

孫のことを話題にする年齢になりました。長女夫婦が京都にすんでいて間もなく5歳になる孫を育てながら夫婦共働きで頑張っています。住宅を購入しローンを払いながら、子供を育てる、本当に時間がない中に頑張っていると思います。仕事がピークの時には孫を車に載せて拙宅に預けにきます。

私たち夫婦が子ども3人を沖縄で育てていたころとはまったく違います。高台の団地の1階に住んでいて、周りは同年代の子連れの家族ばかりで、我が家は小学校前の子供のたまり場になっていて、いつも10人くらいの子供が出入りしていました。テレビと言ってもNHK程度で、あとは団地の芝生で朝から夜まで走り回っていました。日曜は中古の軽自動車に子供たちを乗せて、毎週のように海水浴。

今、孫はネット漬けになりがちです。ほっておくと、子ども向けの番組を延々と見続けていて、幼児向けの科学アニメや、怪獣もの、学園もの、お姫様やポニーの世界と、どうなるかと思えます。3歳の頃にはすでに何十という怪獣の名前を憶えていました。パッドの使い方などは大人と同じで、また、言葉遣いも幼児を通り越しています。どうしたら実体験の時間を増やすことができるか、幸い長女夫婦は山が好きで、キャンプに連れて行ったり、川遊びで捕まえてきた生き物を飼ったりと時間のない中に、バランスを取ろうとしています。

そして拙宅にあずかるときにもどうしてもネット頼みになりがちで、終始動画にくぎ付けです。公園に散歩に連れて行ったり、水族館や動物園に連れていくなど、工夫して面倒を見ます。

そのような中で、家内が救世主を見つけました。「キッズプラザ大阪」です。家から孫を載せて自転車でも行ける距離にあるので、夏の暑い日にも、プラザ館内で半日ほど過ごします。クーラーの効いた館内で、巨大シャボンの中に

入る装置や、二本のレール上で鋼球を高い所から落としジェットコースターのように球が流れていく装置、空気銃のようなものでボールを空中に止める装置、いろんな打楽器体験など、そうした装置の間を4歳の孫は飽きずに何時間も走り回ります。「遊び、発見し、学ぶ」。いつか物理を教科書で学ぶとき、幼児や子供の頃の体験を重ねて理解することでしょう。何よりも、遊び尽くす孫に、面倒から解放されます。毎日連れて行ってくれとせがむ孫のために、ついに何回でも入れる年間パスポートを購入してしまいました。

これに勢いづいて、ネットで検索しますと、1997年にできたキッズプラザは全国初の子供博物館で、以降、日本各地に親子で楽しめる博物館・科学館が出来、そうした施設を紹介するサイトでは、全国で3000件以上が登録されており、「環境」で検索すると136件が紹介されています(1)。

触って遊んで学ぶこうしたチルドレンズ・ミュージアム(子どもたちの体験学習を刺激する展示とプログラムを提供する教育施設)は1899年にニューヨーク・ブルックリンで出来たのを最初とされますが、1970年代以降、欧米で大きく広がり、現在では相互の情報交換を目的とした国際組織もあるようです(2)。

とかく「環境問題」というと楽しさよりも「ねばならない」が強調されますが、驚きや発見、環境の不思議や尊さを、目を輝かせて遊び、体験し学ぶ、そうしたことの大事を思います。

そういえば、かつて市民研究所でも「エコっ知ミュージアム」を検討していたことを思い出しました。

(1)「全国の博物館・科学館のおでかけスポット一覧」  
<https://iko-yo.net/facilities>

(2)「the Association of Children's Museums」  
<https://childrensmuseums.org/>

# 市民研究所通信

## 「新たな風を吹かすのはわたしから」

今年度は新型コロナウイルスの影響を受けつつも、少しずつではありますが、以前の活動状況に近い状態に戻ってきています。令和元年度～令和4年度第1四半期のプラザ事業の活動状況から振り返ってみたいと思います。

### ① 環境出前講座（クラブ支援）に出向いている学校数

	R1	R2	R3	R4
学校数	9校	中止	中止	3校

### ② 施設見学に来館された人数

	R1	R2	R3	R4.6
人数	6734人	942人	1948人	2885人

\*R4年度については4月～6月までの集計

### ③ 市民研究員の活動回数 (調査研究及び実践活動)

	R1	R2	R3	R4.6
人数	364回	125回	129回	62回

\*R4年度については4月～6月までの集計

感染状況が落ち着くまでにはまだまだ時間がかかりそうですが、上記の表①～③の数を見ると、少しずつではありますが新型コロナウイルス感染拡大前の状況に戻りつつあります。

### ④ 市民研究員の人数

	R1.4	R2.4	R3.4	R4.4
人数	40人	43人	29人	39人

\*4月1日時点での人数。現在は42名在籍。

### ⑤ 新たに市民研究員に加入された人数

	R1.4	R2.4	R3.4	R4.4
人数	9人	7人	3人	13人

表④と⑤の数を見ると、R2からR3にかけて、プロジェクトチームの活動そのものがない状況下であったため、市民研究員を辞めてい

れる方もおられたと想像されます。このままではプロジェクトチームの存続自体が危ぶまれるような悩ましい状況でした。

その打開策として、くるくる環境スクールの募集要項に市民研究員養成講座として明確に位置付けて募集を行いました。そして、くるくる環境スクール修了生に対して、現市民研究員から活動内容を丁寧に説明していただく場（つながり広場）を数回設定する等、新規加入への道筋を作ることができました。

その他にも、調査研究を主として活動するプロジェクトチームに加えて、実践活動を主とするアクションチームを立ち上げたことにより、市民研究員に再加入される方や実践活動に興味のある方がアクションチームに加入されるようになりました。

もちろん他にも、HPを見て、友達に誘われて市民研究員になられた方もおられますが、いずれにしても環境問題に興味関心がある方やボランティア活動にチャレンジしてみたいと考えて加入される等、意識の高い方々が新たな仲間として活動されています。

ちなみに、現在の市民研究員の年齢構成については・・・

	30代	40代	50代	60代	70代	80代
割合	7%	5%	12%	17%	45%	14%

\*令和4年8月1日時点の年齢の割合


近年、ほとんどおられなかった30代40代の方が市民研究員として加入されています。ぜひとも、新たな風を吹き込んでいただけることを期待しております。もちろん、若手とベテランが融合して、市民研究員の活動の幅が広がっていくこともあわせて期待しております。

事務局としても精一杯、市民研究員の皆さんの活動を応援していきたいと思っております。コロナに負けず、市民研究所が一つになって頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。  
(事務局)

## 研究所 9 月の予定

日	曜	催し	時間 場所	備考
1	木	9/3 15:00~16:30 市民研究員研修講座②もあります。		
2	金			
3	土	第5回代表者会議	13:15~ プラザ講義室	主担・代表者・ 事務局
4	日	定例会	13:00~ プラザ講義室	手作りおもちゃと 環境AT
5	月	休館日		
6	火	定例会	14:00~ プラザ講義室	SDGs啓発PT
7	水			
8	木	定例会	14:00~ プラザ講義室	身近な環境を調 べようPT
9	金	第2回研究運営委員会	14:00~ プラザ講義室	主担・執行役員 ・事務局
10	土	ぐるぐる キッズ環境スクール④	10:00~ 万博記念公園	自然観察体験
11	日			
12	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	千一小学校 藤白台小学校	市民とお店をエコでつなぐ PT 手作りおもちゃと環境AT
13	火			
14	水	環境出前講座(クラブ支援) / 定例会	吹一小学校 / 10:00プラザ	紙すき体験と環境AT / 市民とお店をエコでつ なぐPT
15	木			
16	金			
17	土			
18	日	ぐるぐる秋フェスタ		●
19	月	休館日		敬老の日
20	火	休館日		
21	水			
22	木			
23	金	休館日		秋分の日
24	土	ぐるぐる環境スクール④	10:00 プラザ集合	啓発施設見学 / 自然散策
25	日			
26	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	千一小学校	市民とお店をエ コでつなぐPT
27	火			
28	水			
29	木			
30	金			

## 研究所 10 月の予定

日	曜	催し	時間・場所	備考
1	土	第6回代表者会議	13:15~ プラザ講義室	主担・代表者・ 事務局
2	日	定例会	13:00~ プラザ講義室	手作りおもちゃと 環境AT
3	月	休館日		
4	火			
5	水			
6	木			
7	金	第3回研究運営委員会	14:00~ プラザ講義室	主担・執行役員 ・事務局
8	土	ぐるぐる環境スクール⑤	10:00~15:00 プラザ	講義 / 3つのチーム体験
9	日			
10	月	休館日		スポーツの日
11	火	休館日		
12	水			
13	木	フィールドワーク・定例会	糸田川現地調査	身近な環境を調 べようPT
14	金			
15	土	ニュース原稿締切 ぐるぐる環境スクール⑥	10:00~15:00 プラザ	3つのチーム体験 /ワークショップ
16	日			
17	月	休館日 環境出前講座(クラブ支援)	千一小学校	手作りおもちゃと 環境AT
18	火			
19	水	環境出前講座(クラブ支援)	吹一小学校	SDGs啓発PT
20	木			
21	金			
22	土			
23	日	ぐるぐるハロウィンフェスタ		●
24	月	休館日 出前講座(クラブ支援)	藤白台小学校	市民とお店をエ コでつなぐPT
25	火			
26	水			
27	木			
28	金	第2回 ごみゼロウォーク実行委員会	13:30~ プラザ	
29	土			
30	日			
31	月	休館日		

は、資源リサイクルセンター(ぐるぐるプラザ)の休館日です。●は、一般の方も参加できます。詳しくはプラザまで。

※予定は、変更する場合があります。